

県連ニュース

2021年2月号 NO-523



『西南稜のブリザードに耐える』

滋賀県勤労者山岳連盟

2021年 2月号 目次

エッセイ

山と会へ思いを寄せて…………… 2

報告

第7回理事会…………… 3

寄稿

ステップアップ比良 ヤケオ山…………… 5

上谷山 山行…………… 6

ぐうたら会長のつぶやき…………… 9

2－4月行事予定表…………… 10

表紙の写真：『撮影者 ちごゆり山歩会 濱本健二 2015.1.11 』

山と会への思いを寄せて

山友会 高玉敬子

思いもかけず、県連機関紙にエッセイを書く順番が回ってきた。
私にとっては、最初で最後の投稿をする事になった。

今振り返れば、山への思いをどうしても断ち切りがたく、今の会に再入会。そのほとんどの期間を理事と機関紙係を担当してきたが、思うように山行の方はできずにきたのは、山以外の活動が忙しくなってきたことは確かである。

思えば、山を始めきっかけは、滋賀にきて働きはじめた20代の頃である。一緒に働く職場の仲間に山に誘われて行ったのが始まりだった。この中で”働く人達が楽しく安全に安く”というモットーの勤労者山岳連盟を知り、その一員の山友会に入る。当時は若者や働き盛りの人達ばかりで、まさに勤労者という名のつく会は何か誇らしくも感じていたように思う。あれから何十年、紆余曲折があり、山への思い出はいろいろだが、心臓の高鳴りを前に必死で登った”槍” やここぞとばかりの三点支持で登った”剣”など、いい思い出である。山への憧憬は、この先も尽きることはないだろう。

ネット社会が到来し、会員同士の連絡や組織の運営もネットを通じて行われるようになり、パソコンやスマホを持たない私はいよいよやりにくさを感じる。文明の利器というが、もともと現役時代からなじみがなく入りにくい。

このような社会で人々の好みや要求も多様化し、会員拡大も苦勞しているが、自然がある限り、人々の山への思いは尽きる事はないだろう。その時に勤労者山岳連盟という組織が、その灯台となって、その思いを実現させる力に、その為にも、もっと強く大きな組織にと願う。



《報告》

2020年度第7回理事会 議事録

日 時 2021年1月13日 水曜 19:00～20:30 明日都浜大津1F会議室

出席 友永、高玉、古川、田中、宮内（記録）

Web出席 平山、渡壁、藤関、山元、今村 （理事会定数11名）

欠席 中島（連絡あり） 池田

急遽当日にzoom会議を設定する。

議 題

1. 第45回定期総会 議案書の検討

2021年3月7日 午後1時00分～午後4時50分

大津市ふれあいプラザ5階中会議室54名収容（明日都浜大津）

●事業報告について検討 資料配信済

訂正箇所を修正追加したもの、救助隊は、友永さんが作成したものを再度配信

●事業計画案について検討 資料配信済 日程等の確認をした。

●決算・予算について

●総会開催については、2月17日の代表者会議で決定する。

2. 第2回「山登りを始める人の講習会」開催 定期総会当日の午前に設定

2021年3月7日 午前10時～12時 受付9時30分～

大津市ふれあいプラザ5階 中会議室 （明日都浜大津）

とりあえず、会場も抑えているので、内容を変更して開催予定とする。

変更内容 会員向けに「地図読み勉強会」とする。

山行自粛になる中で、この機会を利用した勉強会

理事メーリングリストで、理事から各会に配信することにする。

HPでの案内も考えている。

講師 友永会長・

スタッフ

なお、今後のコロナの状況によっては中止も考える

3. 第2回代表者会議について

2月17日（水）午後7時～8時30分明日都浜大津中会議室24名 Web会議併用
短時間の会議進行のため、議案書を事前配信して意見を求め、集約したものを事前に配布資料とする。（事業報告・事業計画案・決算報告・予算案）また、総会開催について、人数制限しての開催等提案する。

4. 各部報告

組織 会員数動向（前年年度末比 /207） 12月の会員数の報告

山友会	岳友会	雪稜会	彷徨	ちごゆり	ジャクガ	2020.12/2020.11
62/60	37/38	44/43	9/9	16/16	5/5	173/171
(32+30)	(19+18)	(26+18)	(6+3)	(7+9)	(3+2)	

- 自然保護部 なし
- 教育・遭対部 なし
- 機関紙部：2月号（1/15締め切り）
表紙写真（提供済）エッセイ（山友会・高玉）
- 財政部 理事会交通費。他の請求があれば、1/26までに財政田中に請求のこと
用紙は別途配信あり。
- CSS なし
- SKI・NET なし

4.その他 覚え書き

- 2021年度安全対策基金の申請 3月末 決算報告と次年度申請を
- 第34期第1回評議会 2021.2.20～21 東京 ｺﾝﾌﾞﾝ列林ﾙ 友永会長 出席？

次回 第8回理事会 1/27 水曜日 19:00～20:30 明日都浜大津会議室
Web会議併用



日時：2020年12月12日

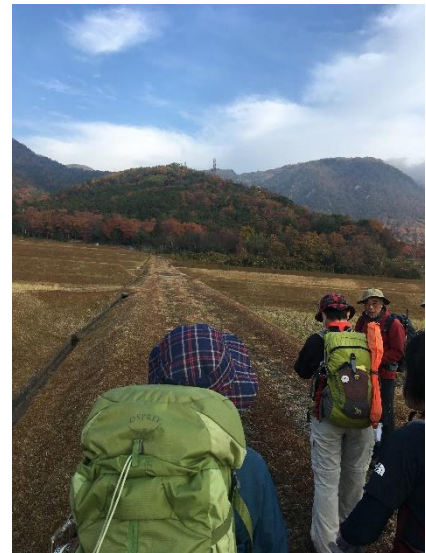
参加者：8名（山友3名・雪稜3名・岳友2名）

コース：北小松駅→東尾根→中井新道→ヤケオ山→南尾根→大谷林道→近江舞子駅

8：00 CLより説明を受け、北小松駅スタート

8：30 東尾根取り付き末端より登山開始

寒さ対策をしたものの朝から気温が高く無風状態での登りとなり、衣服調整しきれないほどの暑さとなった。東尾根は、木々の落葉のため藪漕ぎの箇所はなく見通しも良かった。急登のため落ち葉ですべりやすく歩きにくい。



10：00 中井新道分岐。分岐点よりしばらく登るとヤケオ山の頂上が見える。そのあたりはススキの群生の中を進む。草木で見えないが、琵琶湖側は断崖になっているとのこと。注意して進む。この頃より天気が下り坂で、眺望もガスガスの中。

11：15 ヤケオ山到着 風も強く休憩せずにすぐに下山に取りかかる。

迷子の猟犬に遭遇したが、走って逃げて行ってしまった。

12：15 南尾根分岐より大谷林道へ下山。テラスまで下りたところで大休止。昼食を食べ始めた頃に小雨が降り始め、この後は下山まで降ったり止んだり。

南尾根道は、かつては石を切り出していたようで、道の脇には切り出されたまま残されている石が多数あった。

14：00 近江舞子駅到着後、解散

今回初めて「ステップアップ比良」に参加させていただき、破線ルートですらないルートを歩くことができたことに感謝しつつ、地図読みの難しさを感じました。これからも経験を積んでいきたいと思えます。

記録：YT



余呉 福井県境 上谷山 1196.7m

日 程： 2020年 11月 29日(日) 天候：晴れ夕方から曇りのち雨

参加者：CL：NT SL：KK KH HS IS HT HK NY 8名

コース&タイム：和邇川河川敷駐車場 4：30＝余呉町中河内＝6：30 針川集落跡・直
行組合流 6：45 出発～727 ブナ林台地 8：00～781.2 点標(石留山) 8：40～1041m
9：50～1059m 11：40～ 13：40 上谷山 14：00～(往路を戻る)～1041m 17：00～
727 ブナ林台地 19：00～針川 20：50＝9：05 中河内(解散)＝和邇 23 時過ぎ帰着

今回、当会の計画に滋賀山友会のK氏から“一緒させてもらえないか？”との話がありokした。実は、コロナで中止したが4/29に計画した時も、K氏と話をし、合同山行にしようとしていた。当会は40周年記念登山の一つとして「滋賀県内40山の踏破」を目指していて残るは上谷山のみであった。一方 滋賀山友会は50周年記念で‘滋賀50山登頂’を目指していて、残るは当会同様上谷山のみで、何回か計画したが諸事情で未完との事。で、当会パーティーと山友会パーティーの合同山行とし、お互い協力し合って踏破を目指すこととなった。

和邇から5人が車2台で出発。3人は現地近くで前泊し、直行。

Iさんは東京から遙々前日に滋賀入りし、前泊にての参加で感激であった。

上谷山は未知の山域で、余呉トレイル地図には727mブナ林台地まで破線の登山ルート表示はあるが、それより先は径はなし。

昨年5/4と6/5に下見に出かけたが、1000m辺りからの猛烈なヤブに阻まれ1041mを少し過ぎた辺りでいずれも敗退。6月は葉が生い茂り、5月初めとはヤブの様相が一変して5月到達地点すら届かない有様。無雪期のチャンスは雪解け直後の4月か、葉が落ちた積雪直前の11/末～12/初めしかないと教訓を得る。

針川集落跡に両会の全員揃ったところでお互いの健闘を願って出発。目の前の東北東方向に伸びている尾根に取付く。初っ端から急登が続く。何ヶ所か倒木(2・3年前の台風によるもの)が進路を塞いでおり、越したり、迂回したり。山友会P(11名)は、40代2人を中心とした特に元気な4人組が先発隊を担う。その他メンバーも全員元気で、軽く我々を抜いていった。

天気は上々、風もなく暑いくらい。緩やかになると、727mブナ林台地だ。ここより1000m辺りまでずっとブナ林が続き気持ち良い。



ブナ林の尾根を行く



三国岳へ続く県境稜線が美しい

ブナ林が終わると笹と低灌木のヤブとなる。下見で取付けた赤テープと山友会が付けたピンクのテー

プが頼りだ。I君が先頭を買って出てくれる。

1041m辺りから東方向に深く厳しい藪の中を少し緩やかに下る。笹は頭を隠す高さ。

やがて登りに変わり、1059m辺りを過ぎると上谷山に伸びる北方向の尾根に乗る。地面が盛り上がった所では尾根の先に上谷山が望めるようになる。笹は固く密生しており、かき分けて進むしかないが、遅々とした歩み。通った痕跡も残らない。

下山開始を13時としていたが、手強い笹藪に時間はどんどん過ぎ、山頂手前の小ピークで13時となってしまう。上谷山はもうすぐの所だ。山友会Pはもう山頂に着いていることだろう。

進むべきか引き返すべきか悩んだが、14時までには山頂に着いて下山開始出来ると信じ、進むことに決める。天気も良く、下山については、明るい中に深いヤブは突破出来るだろうし、ブナ林に入ればライトで充分歩けると判断した。

最後の上りの頂上手前で 下山してきた山友会メンバーとすれ違い声を掛け合う。

13:40 ようやく上谷山頂上に到達! 3~4 畳程の広さ(狭さ?)の山頂は、そこだけ笹が無く土が見えている。三角点(2等)をしっかりと目に焼き付ける。

達成感に浸る時間はなく、急いで食料・水分を補給し写真を撮り、14時下山開始。



上谷山の三角点(1196.7m)



上谷山山頂にて 登頂成功!

夕方になると、急に雲行きが怪しくなってきた。下りも予想以上にヤブに苦労させられ、1041m辺りで17時となってしまう、ヘッドライトを点ける。

猛烈なヤブは抜けたものの、ライトの明かりだけでは、ルート確認も手間取るしペースは落ちる。その内 雨も落ちてきて今度は雨具を着け、尾根をひたすら下る。

19時 727mブナ林台地。全体に疲れが見え、休憩をとる。

ここから急な下り。ガスも出てきて、先が見づらく、ルート取りが難しい。

さすがに疲労が目立つメンバーも出てきて、ペースは大幅にダウン。トップは後続メンバーが離れ過ぎないように、何度も何度も立ち止まり調整してくれている。

20:50 ようやく針川に下山。ブナ林台地から1:50も要した。(上りは1:15) 雨具を脱ぎ、まずは携帯の繋がる中河内まで移動し、ここで各自、下山連絡を入れる。

14時間余も要したが、全員揃って登頂し、無事下山出来て安堵した。無謀との批判もあるかと思うが、‘この諸条件の揃った機会を逃せば登頂は不可’と山頂まで進む判断をした事に後悔はない。40山最後に残った“難関”を苦戦しながらも踏破出来、皆に感謝したい。特に2回の下見に参加してくれ、当日も積極的にリードしてくれたKHさん・KKさん・HSさん、先頭で皆を引っ張ってくれたISさんに

深謝。40 山達成、万歳！ そして先陣を切ってくれた山友会 P に感謝々々である。合同山行でなければ、登頂は無理だったかも。山友会 P の下山は 19：40。山友会も 50 山達成である。おめでとう！

いろいろな意味で本当に遠い山であった。無雪期の滋賀県側からの踏破にこだわり、思い入れも特別深いことから長い報告となった。

< 記：NT 写真：KK >

《 一口感想 》

熊笹の藪漕ぎは想像以上にしんどかった。今時こんなに熊笹が残っているのも驚き!! 更に、夕方、みぞれ混じりの雨になり、真っ暗な中、懐中電灯でマークを探しながら 500mH、よく全員事故もなく下れたものだ。I S さん、KH さんの頑張りもすごかったが..。

しかし、ブナ林は広大で素晴らしかった。僕としてはこれで帳消しかな？

FT

頭まですっぽり覆う笹藪を必死かき分け到達した山頂は藪に囲まれた 4 畳半ほどの空間で三角点上部が地表から少し見えると言った状況でがっかり。しかし、この難関の山に登頂できた感動がそれを打ち消しました。N 会長並びに同行の皆様ありがとうございました。

KK

滋賀県最難関ともいわれる上谷山に運よく初挑戦で何とか登頂できてうれしい思いです。HS さんの滋賀 40 山の企画が無ければ名前を知っているだけの遠い山のままでした。長時間の藪漕ぎをしたのは初めてで大変でしたが皆の思いが通じたということでしょう。これも昨年 2 回も下見していただいたからこそと感謝致します。有難うございました。

NY

一日の活動時間 14 時間強と強烈なやぶ漕ぎ、ヘッドライトでの激下り、いずれも初経験であり今後も更新されることのない自己記録になりました。

無事登頂下山できたのも同行メンバー皆様のおかげです。ありがとうございました！

40 周年記念 滋賀 40 山達成おめでとうございます。

HS

2 回の下見で解ったのは、「1 日で登頂するのは無理！」という事でした。

しかし、今回山友会の先発隊が道を開いて下さったお陰もあり、時間がかかったものの何とか達成できました!!

リーダー及び参加の皆さん、そして山友会の皆さんに、感謝感謝です!!!

KH

2013 年 3 月に例会で実施した残雪の三国岳から、朝日に輝く上谷山をはじめとする峰々を見ました。その時のぶな原稿の一口感想に「アルプスまで行かなくても、こんな近くに、こんな素晴らしい山がある」と投稿しました。今回も登り始めてしばらくして、朝日が当たる光景を見た時に、やはり美しい山と思いました。また、コースは非常に厳しく、山岳会が挑戦するにふさわしい山です。その山に、滋賀 40 山の締めくくりとして登ることができ、満足感で一杯です。二度も下見をしていただいた N 会長、HS さん、KH さん、KK さんには感謝で一杯です。ただ、もう一度登れと言われたら、今度は福井県側から 3 月に登りたいです。

I S

ぐうたら会長のつぶやき

友永 芳和

皆さん年の初めはいかがお過ごしですか？ 私が毎年元旦に計画している音羽山に、この2年ほど山頂まで行けずに終わっていましたが、今年は参加者の皆さんに後押ししていただき山頂に立つことができました。ほんの少しいただいたワインがこれまで以上に美味しかったです。細々と続けている水5リットルのポッカが少しは役立っているのかなと思いました。これで気を良くして10リットルを目標にしようかなんて厚かましく思っています。なんにしる目標を持つ事は良いことだと思いますから…。

コロナも収まる気配はありませんが、対処法も少しずつ判ってきました。今年はしっかり準備して焦らずに一歩一歩山に登りましょう。千里の道も一歩から…なんて言いますからネ。

比良の沢 第22、23弾です

No481 88-19

貫井谷右俣左支流かも(比良の沢) 1988年10月4日 晴のち曇り

(コースタイム)

上貫井 9:40—10:10 二俣 10:25—11:30 水切れ 11:35—12:15 縦走路—12:25 武奈ヶ岳 13:00—13:25
ワサビ峠—14:30 坊村

(報告)

約1年振りの貫井谷です。バス停より薄れかけた記憶で道を辿る。本当にこの道だったかなと首を捻り始めた頃に二俣に着いた。右俣に入る。地下足袋に履き替えて遡行開始。出合より小滝を3つ越す。少し行くと30mほどのナメ滝と出合う。8mの滝を左から越えると二俣に出た。左に滝がかかっていたので左に入る。右俣左支流に入ったかも知れない。しばらくナメが続く。小滝を幾つか越えて岩壁に守られた滝に突き当たる。水量は少ないが、流れに沿ってクラック状に登り始めたが、無理だったので下り右から大きく巻いた。その上は時折り姿を見せるナメを越えて行く。取付きより1時間ほどで水が切れたので靴に履き替えた。藪漕ぎを続けて登りケルンのある縦走路に出た。澄み切った空に刷毛で刷いたような雲が浮いている。武奈ヶ岳で缶ビールを飲んで西南稜を坊村に下った。ススキが美しかった。

No519 90-3

梅ノ木谷(比良山) 1990年7月6日 晴

(コースタイム)

近江舞子 8:20—9:20 取付き堰堤上 9:35—10:30 15m 滝上 10:40—11:15 水切れ 11:20—11:55 ヤケオ山
12:30—13:20 涼峠 13:30—14:10 北小松

(報告)

近江舞子より流れに沿って集落を抜ける。道が切れたのでしばらく藪を漕ぐと車道に出た。車道終点の工事現場より谷に入った。藪の深い踏み跡を辿って、堰堤を3つ越えると取付きです。地下足袋に履き替えて遡行開始。小滝を幾つか越えて進む。特別難しい所もなく遡行は進んだ。1時間で15mの滝に出合う。右から高巻きで越えた。しばらく行くと10mほどの滝があった。半分登ったが、ハーケンのある所を抜けるのが怖かったので、下って左から巻いて越えた。流れも細くなり、11時15分水が無くなった。登山靴に履き替えて滑り易いガレを登り詰める。尾根の細い踏み跡を左に辿り、11時55分ヤケオ山の山頂に出た。ここで昼食をとり、涼峠より北小松へ下った。

※長い間とりとめのない報告にお付き合い下さりありがとうございます。これで比良の沢を終わります。

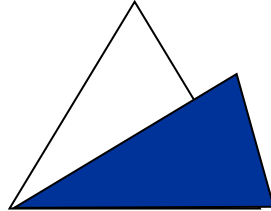
行事予定

月	日	県連・全国行事	月	日	各会の行事	会名
				6	鶏冠山～竜王山	彷徨
				7	伊吹山	岳友
	7	山スキー教室 奥美濃大日岳(スキーネット)		7	千支山行「牛松山」(自粛中止)	山友
	11-13	雪山基礎講座(第3回)		7	綿向山(コロナの為中止)	ちご
		南アルプス・仙丈ヶ岳		14	スノーシューハイク(打見山～森山岳)	雪稜
	13	ステップアップ比良「堂満岳」(中止)				
2	12-14	小谷温泉山スキー交流会(スキーネット)		20	賤ヶ岳(コロナの為中止)	ちご
	17	代表者会議(明日都浜大津)		14	ハイキング部例会「綿向山」(自粛中止)	山友
				21	霊山岳	岳友
	20-23	妙高ゲレンデスキー(スキーネット)		21	第42回定期総会	雪稜
	27-1	妙高山スキー佐渡山(スキーネット)				
				6	梅の花見(コロナの為中止)	ちご
	7	第45回定期総会 午後		6	ダイトレ(槇尾山)	彷徨
		会場 大津ふれあいプラザ		6	土蔵岳	岳友
		午前中				
		第2回山登りを始めたい人の講習会				
3	12-16	北海道スキー三段山・旭岳(スキーネット)				
	20-21	雪山基礎講座(第4回)		17	ミーティング	彷徨
		中央アルプス・木曾駒ヶ岳				
	20-22	妙高周辺山スキー(スキーネット)		20	箕作山	岳友
				21	定期総会	岳友
	27	ステップアップ比良(中止)				
	27-28	妙高ゲレンデスキー(スキーネット)				
				28	瓢箪崩山(コロナの為中止)	ちご
				28	藤原岳	雪稜
	10-11	雪山基礎講座(第5回)		3-4	加賀大日岳～越前大日岳	彷徨
		北アルプス・遠見尾根～白岳		4	京都トレイル	岳友
	10-11	乗鞍高原ゲレンデ・山スキー(スキーネット)		11	定期総会	山友
	17	金毘羅岩トレ(CSS)		18	堂山・笹間ヶ岳	岳友
4						
				24	天吉寺山	彷徨
				28	野点山行(八ヶ峰)	雪稜

会名略号 山友:滋賀山友会、岳友:湖南岳友会、雪稜:比良雪稜会、ちご:ちごゆり山歩会

シャク:シャクナゲ溯行クラブ、彷徨:彷徨倶楽部

スキーネット:山スキーネット滋賀、CSS:クライミング研究会滋賀



2021年3月号の原稿は、2月15日〆切です。

原稿の投稿先は 古川 tfurukawa@dj8.so-net.ne.jp 及び

渡壁 painter_watakabe@maia.eonet.ne.jp まで、

用紙サイズは A4、フォントは本文 11~12、タイトル 14~16、

余白は上下左右 19mmとし、

使用する写真は 200KB 以内としてください。

皆様のご協力をお願いいたします。

「県連ニュース 20212月号」 No.523

発行日:2021 年1月 20 日

滋賀県勤労者山岳連盟

〒520-0836

大津市杉浦町 9-30

<http://shigarousanjimdo.com/>

TEL 080-4971-6231

Email shigarosan@gmail.com

ゆうちょ銀行（店名 418）

普通 0239956

発行責任者 宮内 眞子

編集委員 高玉 敬子 古川 哲郎 渡壁 由美子